

サテライト開催!!

関西で受講できる  
チャンス!

実習も!

# 熱電対の校正

【 1日コース : 9:30~16:30 】

見識が深まる講義

身に着く実習

熱電温度計（熱電対、指示計器付熱電温度計）を社内校正するための基礎技術、手法、留意点等を解説するとともに、温度計校正装置を用いた校正と校正結果の補正について、実習を通して確認します。

## ■ 対象

温度計測の実務経験が3年程度の方  
熱電対の基本を確認したい方

## ■ レベル

基礎

## ■ 講師

日本電気計器検定所 職員

## ■ 受講料（税込）

JEMIC 計測サークル会員	24,200 円
非会員	28,600 円

## ■ 確認テスト

セミナーの最後に理解度を確認するテストを行い、合格者には合格証明書を発行します。

## ■ セミナーテキスト

紙媒体でご提供します。

## ■ プログラム

1. 温度のトレーサビリティ  
温度の単位、温度標準の仕組み、温度のトレーサビリティなどについて紹介します。
2. 熱電対の校正  
熱電対の基本を再確認した後、校正に必要な知識について詳しく解説します。  
① 熱電対の原理と特徴及び使用上の注意点  
② 規準熱起電力と許容差  
③ 熱電対を用いる測定回路の構成（基準接点、補償導線、計測器）  
④ 熱電対（JIS C 1602、1605 対応製品）の校正（比較校正を主とする校正方法）
3. 実習  
熱電対の比較校正について、実習を通して理解を深めます。

### サテライト開催について

#### ■ 本社会場に参加のお客様

講義、実習共に本社会場となります。

#### ■ 関西会場に参加のお客様

講義は関西会場にてオンライン受講し、実習は関西会場にご用意した実習機材を使用し、職員が説明しながら行います。本社会場と同様の形でご受講頂けます。

《 裏面の説明もご覧ください 》

## ■ 2023 年度開催スケジュール

日程	会場	定員	お問い合わせ先
10月26日(木)	<b>JEMIC 本社</b> (東京都港区)	24名	TEL : 03-3451-1205
	<b>JEMIC 関西支社</b> (大阪市北区)	8名	kosyukai-ky@jemic.go.jp

※セミナー開催日の1か月前(10/26)に関西会場の申込者が4名に達しない場合、関西会場は開催中止とさせていただきます(関西会場が中止の場合でも、本社会場は開催します)。

このセミナーを受講した方におすすめの講座

主に放射温度計を担当している方

▶▶

放射温度計基礎講座

主に抵抗温度計を担当している方

▶▶

抵抗温度計の校正

不確かさに関する基礎知識をお持ちの方で、温度分野の不確かさ評価を学びたい方

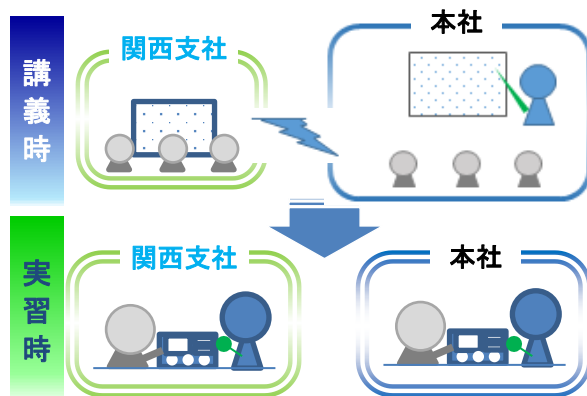
▶▶

事例で学ぶ不確かさ：温度編

## ◆ ◆ ◆ サテライト開催について ◆ ◆ ◆

- 関西支社では、本社からオンライン配信した講義を会場のプロジェクターで投影しますので、パソコンをお持ちいただく必要はありません。
- 講義時にご質問がある場合、関西会場参加のお客様も、本社講師にご質問戴けます。実習時の関西会場でのご質問は、関西支社職員にお尋ね下さい。

### サテライト開催のイメージ➡



## ■ セミナー会場のご案内

### 本社

東京都港区芝浦 4-15-7

- JR「田町駅」徒歩13分
- 都営地下鉄「三田駅」徒歩15分
- JR「高輪ゲートウェイ駅」徒歩20分（芝浦方面改札口が未開設で道が解り難いため、お勧めしません）



### 関西支社

大阪市北区大淀北 1-6-110

- 阪急神戸・宝塚線「中津駅」徒歩10分
- JR「大阪駅」、大阪環状線「福島駅」徒歩20分



## ■ セミナーのお申込みについて

- ❑ **JEMIC** ホームページから申込書をダウンロードし必要事項を入力の上、メールに添付してお申込み下さい。
- ❑ お申込み受理後、受講票をメールで、請求書を郵便でお送りします。
- ❑ 開催日の10日前までに連絡がない場合はご連絡下さい。
- ❑ 受講料は請求書に記載の口座にお振り込み下さい。振込手数料は貴社にてご負担下さい。

## ■ キャンセルについて

セミナー開催日の7日前（前週の同曜日。祝祭日の場合はその前日）までのキャンセルは1名様に付き、1,000円を申し受けます。開催日の7日前を過ぎてからのキャンセルには応じかねますので、前日までにご連絡の上、代理の方がご出席下さい。参加者が少ない場合や止むを得ない事情により、開催を中止することがありますので、ご了承下さい。

## ■ 個人情報について

本セミナーの受講申込みにより取得したお客様の個人情報は、本セミナーに係る連絡に利用するほか、次の目的のために利用することがあります。なお、お客様のお申出により、これらの取扱いを中止させることができます。①計測技術セミナーに関するお知らせ、②各種校正試験業務、検定業務、基準器検査業務等に関するお知らせ、③定期刊行物の発送、購読期限及び会員の集いに関するお知らせ